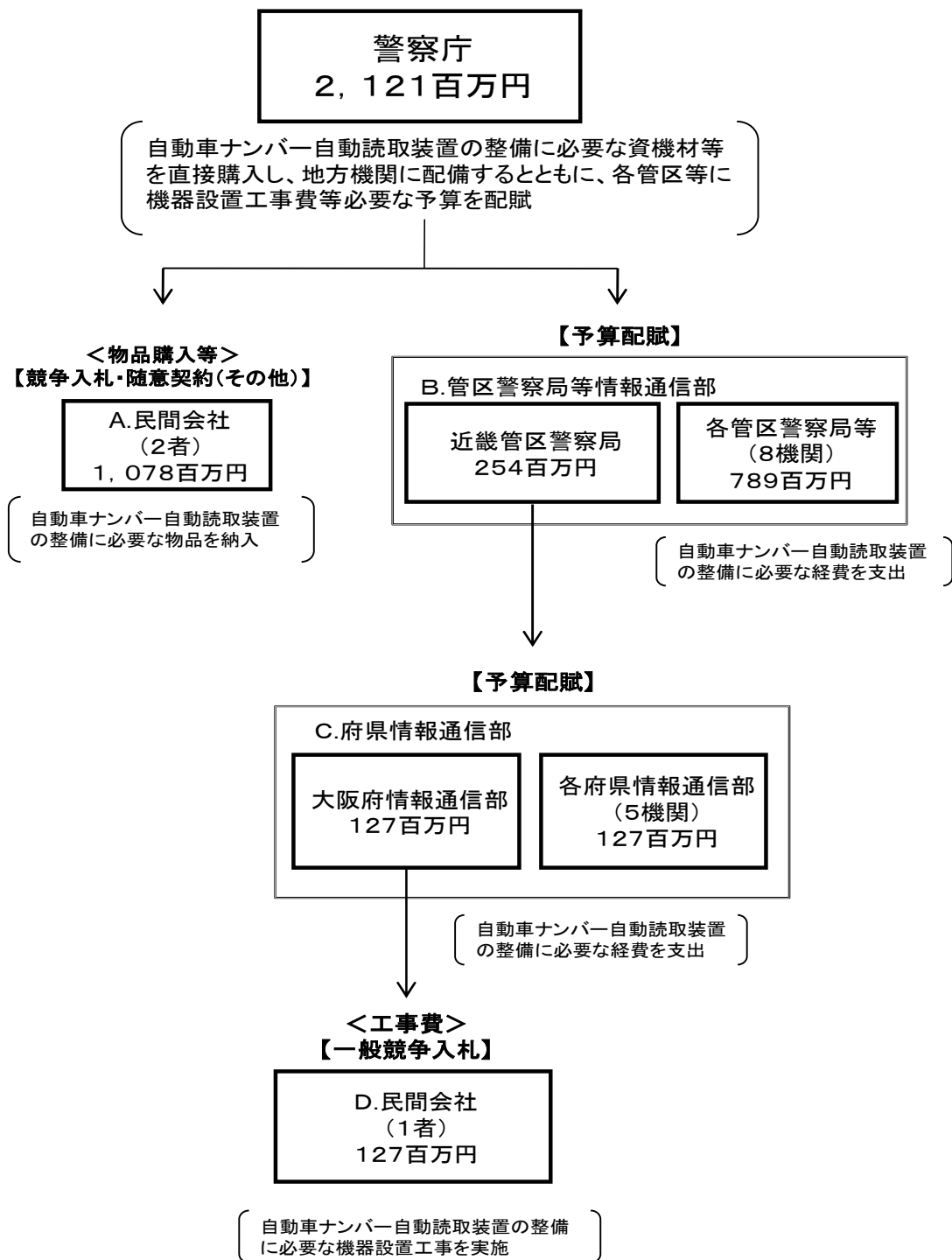


平成27年度行政事業レビューシート (警察庁)

事業名	自動車ナンバー自動読取装置の整備			担当部局庁	情報通信局			作成責任者	
事業開始年度	昭和61年度	事業終了(予定)年度	終了予定なし	担当課室	通信施設課			通信施設課長 佐藤 正明	
会計区分	一般会計			政策・施策名	2-1 重要犯罪・重要窃盗犯の検挙向上				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	警察法第37条第1項第3号 警察法施行令第2条第3号			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策				主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3程度以内)	自動車盗や自動車を利用した犯罪を検挙する。								
事業概要 (5程度以内。別添可)	自動車盗や自動車を利用した犯罪を検挙するため、通過する自動車のナンバーを自動的に読み取り、手配車両のナンバーと照合する自動車ナンバー自動読取装置を整備する。								
実施方法	直接実施								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算 の 状 況	当初予算	205	18	1,404	105			
		補正予算	1,512	2,092	0				
		前年度から繰越し	0	1,330	1,771	0			
		翌年度へ繰越し	▲ 1,330	▲ 1,771	0				
		予備費等	0	218	0				
		計	387	1,887	3,175	105	0		
	執行額	167	1,274	2,121					
	執行率 (%)	43%	68%	67%					
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	24年度	25年度	26年度	目標最終年度 - 年度	
	自動車盗や自動車を利用した犯罪を検挙するための自動車ナンバー自動読取装置の整備	累積整備数	成果実績	累積整備数	1,511	1,511	1,511		
			目標値	累積整備数	1,511	1,511	1,511	-	
			達成度	%	-	-	-		
成果目標及び成果実績(アウトカム)欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙1】に記載 <input type="checkbox"/> チェック									
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	年間整備数(増強)	活動実績	年間整備数(増強)	15	1	-			
		当初見込み	年間整備数(増強)	2	-	-	-		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	年間整備数(更新)	活動実績	年間整備数(更新)	13	25	191			
		当初見込み	年間整備数(更新)	37	125	191	7		
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	24年度	25年度	26年度	27年度活動見込		
	年間整備数(撤去)	活動実績	年間整備数(撤去)	-	1	-			
		当初見込み	年間整備数(撤去)	-	-	-	-		
単位当たりコスト	算出根拠			単位	24年度	25年度	26年度	27年度見込	
	事業費総額/年間整備数(更新・増強・撤去)			単位当たりコスト	千円	5,975	47,189	11,106	-
				計算式	事業費/整備数	167,298/28	1,274,104/27	2,121,214/191	-
平成27・28年度予算内訳 (単位:百万円)	費目	27年度当初予算	28年度要求	主な増減理由					
	物品購入費	58							
	雑役務費	47							
	計	105	0						

事業所管部局による点検・改善						
		項目	評価	評価に関する説明		
国費投入の必要性	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。		○	自動車ナンバー自動読取装置は、自動車盗や自動車を利用した犯罪の検挙に極めて効果的な装置であり、公共の安全と秩序を維持するための警察活動を行う上で、国民や社会のニーズを的確に反映している。		
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。		○	警察通信施設の維持管理その他警察通信に要する経費は、警察法第37条第1項第3号及び警察法施行令第2条第3号により国庫が支弁することになっており、国が実施すべき事業として適切なものである。		
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。		○	警察の責務である公共の安全と秩序の維持のために自動車ナンバー自動読取装置を整備することは、必要かつ適切な事業である。		
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。		○	競争入札により落札した業者と契約しており、支出先の選定は適切なものである。		
	受益者との負担関係は妥当であるか。		○	警察通信施設の維持管理その他警察通信に要する経費は、警察法第37条第1項第3号及び警察法施行令第2条第3号により国庫が支弁することになっており、国が実施すべき事業として適切なものである。		
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。		○	仕様の見直し・点検や競争性を高めるための契約方式の検討を行っており、単位あたりコストの水準は適切なものである。		
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。		-			
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		○	執行額全額について、自動車ナンバー自動読取装置の整備のために支出されていることから、真に必要なものに限定されている。		
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)		○	競争入札により最小限のコストで実施している。		
	その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか		○	仕様の見直し・点検や競争性を高めるための契約方式の検討を行っており、最小限のコストで実施している。		
事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか		○	警察活動に必要な自動車ナンバー自動読取装置を整備しており、警察活動をより迅速・的確に行うことが可能となるなど、成果目標に見合ったものである。		
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。		○	仕様の見直し・点検や競争性を高めるための契約方式の検討を行っており、最小限のコストで実施している。		
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。		○	計画的に整備している。		
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。		○	警察活動に十分に活用されている。		
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-			
	所管府省・部局名	事業番号	事業名			
点検・改善結果	点検結果	通信機器の調達契約については、警察庁で一括調達することで適正性を確保している。また、機器設置工事費等については、地方機関に予算配賦して執行しており、地方機関から執行状況の報告を受け、適切性を確保している。				
	改善の方向性	自動車ナンバー自動読取装置は、自動車利用犯罪の検挙に極めて効果的であることから、引き続き実施する必要がある。予算要求に際して、契約実績額、市場調査に基づく金額及び内容の精査を行っているほか、契約案件の都度、仕様の見直し・点検や競争性を高めるための契約方式の検討を行っている。				
外部有識者の所見						
行政事業レビュー推進チームの所見						
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況						
備考						
関連する過去のレビューシートの事業番号						
平成22年度	当初8-5、補正3-3	平成23年度	52	平成24年度	37	
平成25年度	10	平成26年度	40			

※平成26年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。



資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)
(単位:百万円)

A.A株式会社

E.

費目・使途
 (「資金の流れ」に
 おいてブロックご
 とに最大の金額
 が支出されている
 者について記載
 する。費目と使途
 の双方で実情が
 分かるように記
 載)

費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
物品購入費	自動車ナンバー自動読取装置等	1,073			
計		1,073	計		0
B.近畿管区警察局			F.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
予算配賦	自動車ナンバー自動読取システムの整備に 要する経費	254			
計		254	計		0
C.大阪府情報通信部			G.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
予算配賦	自動車ナンバー自動読取システムの整備に 要する経費	127			
計		127	計		0
D.株式会社C			H.		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事費	通信機器整備等工事2	127			
計		127	計		0

費目・使途欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙2】に記載 チェック

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	A株式会社	自動車ナンバー自動読取装置	609	3	-
2	A株式会社	自動車ナンバー自動読取装置	464	2	-
3	B株式会社	自動車ナンバー照合装置用基板	3	随意契約	-
4	B株式会社	自動車ナンバー照合装置用基板	2	随意契約	-
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	近畿管区警察局	予算配賦	254	-	-
2	東京都警察情報通信部	予算配賦	242	-	-
3	関東管区警察局	予算配賦	240	-	-
4	北海道警察情報通信部	予算配賦	75	-	-
5	九州管区警察局	予算配賦	61	-	-
6	東北管区警察局	予算配賦	57	-	-
7	中部管区警察局	予算配賦	52	-	-
8	中国管区警察局	予算配賦	31	-	-
9	四国管区警察局	予算配賦	31	-	-
10					

C

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	大阪府情報通信部	予算配賦	127	-	-
2	京都府情報通信部	予算配賦	40	-	-
3	兵庫県情報通信部	予算配賦	34	-	-
4	滋賀県情報通信部	予算配賦	21	-	-
5	奈良県情報通信部	予算配賦	17	-	-
6	和歌山県情報通信部	予算配賦	15	-	-
7					
8					
9					
10					

D

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社C	通信機器整備等工事2	127	1	-
2					
3					
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

支出先上位10社リスト欄についてさらに記載が必要な場合はチェックの上【別紙3】に記載

チェック

自動車ナンバー自動読取装置の整備

自動車利用犯罪の迅速かつ的確な検挙のため、
自動的に自動車のナンバーを読み取って手配車両のナンバーと照合する装置を整備

自動車ナンバー自動読取装置の概要

